

天竜川（下流）流域治水協議会 規約改定及び組織体系について

令和3年3月29日
天竜川（下流）流域治水協議会

天竜川(下流)流域治水協議会 組織図(案)

【本会】

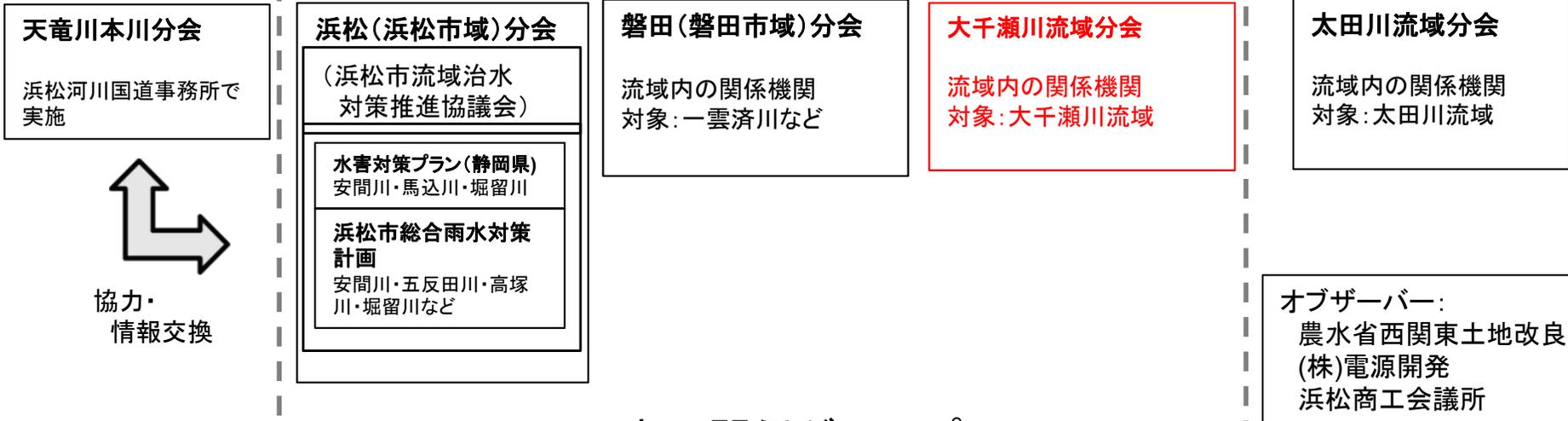
天竜川(下流)流域治水協議会 設立:令和2年9月14日

構成員:浜松市長・磐田市長・袋井市長・掛川市長・森町長・**設楽町長・東栄町長・豊根村長**
静岡県 浜松土木事務所長・袋井土木事務所長・中遠農林事務所長・西部農林事務所長
愛知県 **新城設楽建設事務所長・新城設楽農林水産事務所長**
国土交通省浜松河川国道事務所長・林野庁天竜森林管理署長・(国研)静岡水源林整備事務所長

天竜川(下流)流域治水協議会 (幹事会) 設立:令和2年11月13日

構成員:浜松市・磐田市・袋井市・掛川市・森町・**設楽町・東栄町・豊根村**
静岡県土木(浜松・袋井)・静岡県農林(西部・中遠)・**愛知県(建設・農林)事務所・天竜森林管理署**・
浜松河川国道事務所・(国研)静岡水源林整備事務所

【分会】



協力・
情報交換

天竜川関係グループ

天竜川(下流)流域治水協議会 規約改定(案)

天竜川(下流)流域治水協議会 規約 (第二回改定案)

(設置)

第1条 「天竜川(下流)流域治水協議会」(以下「協議会」という。)を設置する。

(目的)

第2条 本協議会は、令和元年東日本台風をはじめとした近年の激甚な水害や、気候変動による水害の激甚化・頻発化に備え、天竜川下流域及び氾濫域等において、あらゆる関係者が協働して流域全体で水害を軽減させる治水対策「流域治水」を計画的に推進するための協議・情報共有を行うことを目的とする。

(協議会の構成)

第3条 協議会は、表-1の職にある者をもって構成する。
2 本協議会を進めていくにあたり、その他の関係団体についても、協議会の同意を得て、構成員として追加できるものとする。

(協議会の実施事項)

第4条 協議会は、次の各号に掲げる事項を実施する。
1 流域治水の全体像の検討及び共有。
2 河川に関する対策、流域に関する対策、避難・水防等に関する対策氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策、被害対象を減少させるための対策、被害の軽減・早期復旧・復興のための対策を含む「流域治水プロジェクト」(以下「プロジェクト」という。)の策定及び公表。
3 プロジェクトの各対策における実施目標期間の設定。
4 プロジェクトに位置付けられた対策の実施状況のフォローアップ。
5 その他、流域治水に関して必要な事項。

(協議会資料等の公表)

第5条 協議会で承認された資料等については速やかに公表するものとする。ただし、個人情報等で公表することが適切でない資料等については、協議会の了解を得て公表しないものとする。
2 協議会の議事については、事務局が議事概要を作成し、出席した構成員の確認を得た後、公表するものとする。

(協議会の成立)

第6条 本協議会の構成員出席により成立するものとする。
構成員の出席が困難な場合は代理出席を認めるものとする。

(幹事会)

第7条 協議会の円滑な運営を行うため、協議会に幹事会を置く。
2 幹事会の構成員、運営については、幹事会にて定める「天竜川(下流)流域治水協議会 幹事会 運営要領」に基づくものとする。

(事務局)

第8条 協議会の事務局を、国土交通省中部地方整備局浜松河川国道事務所 調査課に置く。

(雑則)

第9条 本規約に定めるもののほか、協議会の議事の手続きその他運営に関し必要な事項については、協議会で定めるものとする。
2 プロジェクトに位置付けられた対策の実施者は、原則協議会へ参加するものとする。

(附則)

第10条 本規約は、令和2年9月14日から施行する。
第一回改定 令和3年1月8日
第二回改定 令和〇年〇月〇日

表-1 天竜川(下流)流域治水協議会 構成員

関係機関名		役職名
	浜松市	市長
	磐田市	市長
	袋井市	市長
	掛川市	市長
	森町	町長
	<u>設楽町</u>	<u>町長</u>
	<u>東栄町</u>	<u>町長</u>
	<u>豊根村</u>	<u>村長</u>
静岡県	浜松土木事務所	事務所長
	袋井土木事務所	事務所長
	西部農林事務所	事務所長
	中遠農林事務所	事務所長
愛知県	<u>新城設楽建設事務所</u>	<u>事務所長</u>
	<u>新城設楽農林水産事務所</u>	<u>事務所長</u>
<u>農林水産省 林野庁 関東森林管理局 天竜森林管理署</u>		<u>署長</u>
<u>(国研) 森林整備センター静岡水源林整備事務所</u>		<u>事務所長</u>
国土交通省 中部地方整備局 浜松河川国道事務所		事務所長